

1 題材 「お話会」をしよう

2 題材について

(1) 学級の実態

本学級は1年生、2年生、4年生、6年生の6名の在籍である。個別の指導では、個のニーズに応じて教科指導やソーシャルスキルトレーニング等の自立活動を実践しているところである。いずれの児童も集団への指示は通りにくく、通常の学級での授業の内容理解及び集団行動への適応、友達とのコミュニケーションなど、スムーズにいかない場面が多い。そこで、小集団の活動を取り入れ、話をよく聞いて活動すること、集団行動のルールを守ること、自分の考えや思いを相手に伝えることなどのソーシャルスキルトレーニングを実施してきているところである。

(2) 指導観

6年生と4年生と2年生の3名の小集団活動である。いずれも集団への指示は通りにくく、通常の学級での授業の内容理解及び集団行動への適応、友達とのコミュニケーションなど、スムーズにいかない場面が多い。

そこで、小集団の活動を取り入れ、話をよく聞いて活動すること、集団行動のルールを守ること、自分の考えや思いを相手に伝えることなどのソーシャルスキルトレーニングを実施してきているところである。本題材では、児童が自分の興味関心のあることや創作したお話を発表することで相手に自分の思いを伝えることや友達の発表を聞くことで、それぞれの良さに気づき、感想を述べるなどを通して、人との関わり方を身に付けることができる考えた。友達の良さに気づき、心地いい言葉遣いをする事によって相手と上手に関わっていけるようこの小集団で身に付けることができればと考えて本題材を設定した。ここで身に付けたソーシャルスキルを、通常の学級で生かすことができるようにしていきたい。

3 児童の実態と目標

	実 態	目 標
A 2年	<ul style="list-style-type: none"> 思い通りにいかないと泣いて訴えることがある。 自分の話を一方的にしがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたい話をみんなに分かるように話すことができる。【6-(5)】 話す人の方を見て、最後まで話を聞くことができる。【6-(5)】 話を聞いて感想や質問等を行うことができる【3-(1)】
B 4年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えに囚われやすく、周囲にも強要したくなることもある。 自分の好きなキャラクターになりきって動くことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の話を、みんなに分かりやすく話すことができる。【6-(5)】 話す人の方を見て、集中して話を聞くことができる。【6-(5)】 最後まで話を聞いて感想や質問等を行うことができる。【3-(1)】
C 6年	<ul style="list-style-type: none"> こだわりが強く、相手によって問いかけが決まっいて、一方的な会話になりやすい。 教室の授業では周りを見て行動することが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の話を、みんなに分かりやすく話すことができる。【6-(5)】 話す人の方を見て、集中して話を聞くことができる。【6-(5)】 最後まで話を聞いて感想を言うことができる【3-(1)】

4 指導計画と評価

第1次 お話づくりをしよう 4時間

	主な学習活動	評 価		
		A	B	C
1	お話を考える。	友達に伝えたい話を考えることができる。	友達に伝えたい話を考えることができる。	友達に伝えたい話を考えることができる。
2 3	お話会で話す話の伝える方法を考える。	分かりやすくするための工夫を教師と一緒にすることができる。	分かりやすくするための工夫を自分で考えることができる。	伝えるための手段を考えたることができる。
4 5	話をパソコンを使ったり絵を用いたりして伝わりやすくなるように考える。	絵を使って分かりやすくなるように準備できる。	パソコンの画面を見ながら話ができるよう練習することができる。	パソコンを使って見てもらいながら話すことができるよう練習することができる。

第2次 「お話会」をしよう 1時間 (本時)

5 本時の学習

(1) 目標

ア 全体目標

- 自分の好きな話や創作した話の発表をして、相手に分かるように伝えることができる。
- 話している人に注目して話を聞くことができる。
- 友達の話を聞いて、その良さに気づき、感想を伝えることができる。

イ 個別目標

- A
 - ・自分が作った話を相手に分かるように伝えることができる。
 - ・話している人に注目して話を聞くことができる。
 - ・友達の話を聞いて、その良さに気づき、その思いを相手に伝えることができる。
- B
 - ・自分が好きな話の発表をして、相手に伝わるように話すことができる。
 - ・話している人に注目し、最後まで聞くことができる。
 - ・友達の話を聞いて、質問したり、感想を伝えることができる。
- C
 - ・自分が体験した話の発表をして、順序が相手に伝わるように話すことができる。
 - ・話している人の話を最後まで集中して聞くことができる。
 - ・友達の話を聞いて、その良さに気づき、感想を相手に伝えることができる。

(2) 準備・資料 タブレット PC, 絵

(3) 展開

学習内容及び活動	教師の支援・評価及び配慮事項 (◎評価)
1 始めのあいさつをする。	○姿勢を正し、3人が揃ってきちんと挨拶し、休み時間との切り替えができるようにする。
2 今日の学習の予定を知る。	○学習の内容と順序を知らせ、見通しを持って学習に取り組めるようにする。
3 「おはなしタイム」をする。 ・給食の今日の献立や朝ご飯などの話をする。	○いつもの「おはなしタイム」で、リラックスし、自分の思いを伝えられるようにする。
4 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「お話会」をしよう。</div>	○これから行う課題について知り、意欲的に取り組むことができるようにする。 ○順番を守って話をすることや発表を最後まで聞くこと、友達のよいところを見つけて感想を言うことなど、お話会のルールについての説明をし、スムーズに進めることができるよう心構えを持たせる。
5 お話会をする。 (1) ルールの説明を聞く。 (2) お話会の準備をする。 (3) お話会をする。 ①はじめのことば ②発表 ③質問や感想 ④終わりのことば ※②③は繰り返し (4) 「お話会」のふりかえりをする。	○お話会の順番を決めたり、役割を分担したりすることができるようにし、お話会の見通しを持たせるようにする。 ○Bが、役割を理解して進めることができるように確認する。 ○それぞれ話を分かりやすくするための絵やタブレット PC の準備をする。 ○Aの創作した話を、みんなに分かるように話すための手助けとして場面ごとの絵を準備しておく。 ○Bが、鉄道の駅について、タブレット PC を動かしながら話すことができるよう手助けする。 ○Cは、修学旅行の思い出をタブレット PC の写真を見せながら話すので、操作に迷ったときは支援する。 ○Bは、途中自分の都合の良いように進めようとしたり、落ち着かなくなることも考えられるので、個別に声をかけるようにする。 ○友達の発表を最後まで聞いたり、よさに気付いて感想を言えたら賞賛する。 ◎お話会で自分の話を発表したり、話している人を見て聞いたり、友達の話のよいところの感想等を話したりすることができたか。 (観察)
6 自由遊びをする。	○自分の好きなことをして、リラックスできるようにする。 ○ゲームで3人が一緒に取り組むときは、支援する。
7 次時の学習を知り、終わりのあいさつをする。	○次は、ゲーム大会をすることを予告し、次時の意欲につなげるようにする。 ○3人揃ってしっかりとあいさつして終わることができるようにする。